

科目名	建築構造システム	英語科目名	Building Construction System	
開講年度・学期	平成 25 年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科 2 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	1	単位種類	履修単位 (30 時間単位)	
担当教員	大島隆一	居室(もしくは所属)	建築棟 2 階デザインスタジオ	
電話	0285-20-2844	E-mail	o-shima@oyama-ct.ac.jp	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
1. 建築部材名称およびその定義を正確に覚える。	③			
2. 建物の仕組みおよび部材のおさまりを把握する。	③			
3. 各種構造形式の原理、特徴および構造等について説明できる。	③			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1～3 について、定期試験により関連問題を 60%以上の成績で達成とする。				
評価方法				
中間試験および定期試験の結果、授業中の演習の結果を加重平均する。				
授業内容				
<p>01.(1週)ガイダンス(建築学体系、シラバス、試験、教科書)、建築物とは、建物構成、RC 造の出来るまでビデオ</p> <p>02.(1週)鉄筋コンクリート構造:RC 造の主材料、特徴、形式</p> <p>03.(1週)鉄筋コンクリート構造:RC 造のラーメン構造、壁式構造</p> <p>04.(1週)鉄筋コンクリート構造:RC 造の壁式、基礎/鉄骨構造:S 造の出来るまでビデオ</p> <p>05.(1週)鉄骨構造:S 造の特徴、形式、骨組</p> <p>06.(1週)鉄骨構造:S 造の鋼材、ボルト、溶接、柱脚、その他</p> <p>07.(1週)木質構造:W 造の特徴</p> <p>08.(1週)＜中間試験(RC 造と S 造)＞</p> <p>09.(1週)試験回答説明、木質構造:W 造の出来るまでビデオ</p> <p>10.(1週)木質構造:W 造の形式</p> <p>11.(1週)木質構造:W 造の基礎、床組</p> <p>12.(1週)木質構造:W 造の軸組、壁・耐力壁、小屋組、屋根</p> <p>13.(1週)木質構造:W 造の接合・継手・仕口、接合金物</p> <p>14.(1週)その他の構造:混構造、PCa 工法、平板構造、組積造・補強コンクリートブロック構造、SRC/GFT 造</p> <p>15.(1週)その他の構造:PC 構造、チューブ構造、メガストラクチャ、トラス・スペースフレーム、吊り構造・張弦梁構造、アーチ・ヴォールト構造、シェル構造、折板構造、膜構造</p> <p>＜定期試験(W 造とその他構造)＞</p> <p>試験解答説明</p>				
キーワード	建築用語、各種構造			
参考書	「図解事典建築の仕組み」・彰国社、「建築構造用教材」・日本建築学会編 「初めての建築一般構造」・学芸出版社			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築概論、フロンティア技術入門			
現学年の関連科目	創造演習 II			
次年度以降の関連科目	建築材料			
連絡事項				
<p>建築部材の名称や専門用語をそのしくみ・形状をイメージしながら学ぶ。</p> <p>各部材の構成を立体的にイメージできるようにトレーニングする。</p> <p>普段から建築を見て、そのしくみをイメージする、また把握する。</p>				
シラバス作成年月日	平成 25 年 3 月 27 日			